事故は3月（春休み）に多くおきています
昨年は1,087人の小學生がケガをしました

事故はどこでおきているの...？

交差点やその近くが多いんだよ

事故にあわないためのポイント！！

・ 道路をわたるときは必ず止まって右・左を確かめましょう（信号が青でも右・左を確かめましょう）
・ 横断歩道を渡りましょう
・ 車のすぐ前すぐ後からの横断はやめましょう（ドライバーからは見えていないかもしれません！）

自転車に乗る時はヘルメットをかぶりましょう
平成29年中は548人の中学生が事故にあります！4月に事故の発生が最も多くなっています。
中学生の事故のうち半分以上は自転車の事故です。

事故はどこで起きているのですか？
半数以上が交差点や交差点から30m以内で発生しています！

うわっ！急に自転車が出てきた。懸命に逃げました！

事故にあわないためのポイント！！
- 道路を渡る時は必ず止まって左右の確認（信号が青でも左右の確認をしましょう）
- 横断歩道を渡りましょう
- 車の直前直後の横断はやめましょう（ドライバーからは見えていないかもしれません）

ながらスマホ・二人乗り・並進等はキケンです！交通ルールを守りましょう！
平成29年中は1,060人の高校生が事故にあります！
3月に入ると事故が増加！

【H29高校生月別人身事故発生状況】
約7割は自転車の事故です！特に登校時の事故が多発しています！
半数以上が交差点や交差点から30m以内で発生しています！

事故はどこで起きているの・・・？

【事故にあわないためのポイント！！】
- 道路を渡る時は必ず止まって左右の確認（信号が青でも左右の確認をしましょう）
- 横断歩道を渡りましょう
- 車の直前直後の横断はやめましょう（ドライバーからは見えていないかもしれません）

ならないスマホ・二人乗り・並進等はキケンです！交通ルールを守りましょう！
自動車の特性を知ろう！

① 車は急に停まれません
停止するまでには、（乾燥した路面の場合）
・50 km/hで走行している場合：32 m
・100 km/hで走行している場合：112 m
必要だといわれています。
歩行者・自転車が道路に急に飛び出しても、車は止まれません。

② 車には死角があります
車には運転席からミラーをとても見えない部分（死角）があります。
トラック等の大きい車ほど死角の範囲も大きくなります。
事故を防ぐためには、
・死角に入らないこと
・「運転手からは自分が見えていないかも…」と思うことが大切です。

③ 内輪差について知りましょう
車が左折や右折する際には、曲がる側の後輪が前輪より内側を通ります。
内側の前輪と後輪の軌跡の差を内輪差といいます。
この内輪差によって、交差点などの曲がり角で車のそばに自転車や歩行者がいると前輪はぶつからなくても、後輪に巻き込まれて事故に遭う危険があります。
交差点やカーブでは、車に近づきすぎない安全な場所を通るようにしましょう。

自転車保険入ってますか？
平成27年から加入義務化！

自転車は子供から高齢者まで幅広く利用されています。
小学生の児童が自転車運転中に事故を起こし、高額な賠償事例も発生しています。
万が一事故を起こしたときに、被害者の救済・加害者の経済的負担軽減のためにも自転車保険に加入しましょう。